

# 「高知県橋梁会 令和5年度 第1回研修会」報告

高知県橋梁会理事 清水 敦史

令和5年度 第1回研修会が2023年4月13日（木）に公益社団法人土木学会四国支部と高知県橋梁会の共催により、高知市本町の高知会館「白鳳の間」で開催された。

研修会では、①落石対策に関する新しい知見、②橋梁伸縮止水工法（プレスアドラー・3e シール）、③ヒロセ工事用仮棧橋での取り組み、④仮設土留めが不要なプレキャスト PC 部材による土留め構造物用壁材：H 型 PC 杭、の4つのテーマで講演が行われた。

新年度の忙しい時期にも関わらず138名の参加があり、大変有意義な研修会となった。また研修会終了後、定例総会を開催し、その後会場を「飛鳥の間」に移し懇親会を開催した。

## ■研修会（13：30～16：55）

研修会の開催に先立ち、右城会長より本日公演される4名の講師の紹介がなされた。また新型コロナウイルスが落ち着き始め、研修会参加者が戻りつつあること、高知県橋梁会の法人会員数が増加していることに感謝の言葉を述べた。

(13:30～13:35)



右城会長による開会の挨拶

1 番目の講演は(株)ビーセーフの松嶋秀士氏より「落石対策に関する新しい知見」と題し、落石対策の現状と課題についての説明があった。

UAV（無人航空機）レーザー測量やモバイルレーザー計測等の進歩により、高精度かつ高密度な地形データの把握が可能となったが、技術者の減少・対策費用・落石対策便覧の内容充実が今後の課題であること。また既設の落石対策設備の老朽化が進ん

でおり、長寿命化・補強対策の一例として、ストロングアー工法の紹介があった。

(13:35～14:35)



松嶋秀士氏による講演

2 番目は中井商工(株)の藤田和也氏より「橋梁伸縮止水工法（プレスアドラー・3e シール）」と題し、講演をいただいた。

伸縮目地部からの漏水により、支承や桁の損傷が進行するため、伸縮装置の下面に乾式止水材（プレスアドラー）を設置することで止水対策が可能であることが説明された。また、遊間が狭く下面からの止水材設置ができない場合は「側方型桁端部止水工」という、遊間部に設置したガイドワイヤーを利用して側面から止水を行う工法が紹介された。

(14:35～15:05)



藤田和也氏による講演

3 番目の講演は太洋ヒロセ(株)の小嶋吉隆氏より「ヒロセ工事用仮栈橋での取り組み」と題し、太洋ヒロセ・ヒロセで取り扱われている商品全般の紹介の後、橋梁製品である工事用システム栈橋 (G 栈橋シリーズ) の 3 工法について説明された。①G 栈橋工法 (G 栈橋+H 鋼), ②Hi-BRIDGE 工法 (G 栈橋+鋼管), ③Hi-RoRo 工法 (G 栈橋+RoRo), 各工法とも部材のユニット化やロングスパン化により支持杭本数を削減することで工期短縮・費用低減を実現できたとの説明があった。

(15:20~16:00)



小嶋吉隆氏による講演

4 番目の講演は菱建基礎(株)の砂子洋一氏より「仮設土留めが不要なプレキャスト PC 部材による土留め構造物用壁材: H 型 PC 杭」と題し、H 型 PC 杭についての紹介があった。

近年、都市部交差点の渋滞対策として、立体交差化事業のニーズが高まっており、工期・コスト・環境負荷低減のための PC 化、プレキャスト化が求められているとの説明の後、アンダーパスや擁壁としての施工事例の紹介をいただいた。

H 型 PC 杭の特徴として、敷地境界に沿って本体構造物として打ち込めるため仮設土留や足場が不要となり、従来工法に比べ大きな断面を確保可能であること。底版・頂版との剛結合が可能であり、低騒音・低振動の工法であることなどの説明があった。

(16:00~16:50)



砂子洋一氏による講演

最後に、案内にはなかったが(有)ツノ工業の津野謙五氏よりクリーンレーザー工法 (塗膜剥離) について概要と試験施工の案内が説明された。

(16:50~16:55)



津野謙五氏による案内

研修会では、参加者が熱心に聴講するとともに各テーマに対して活発な質疑応答があった。



熱心に聴講する参加者

森下副会長による閉会の挨拶では、本日の講演者や参加者への謝辞と次回研修会の開催予定の紹介があり、研修会を修了した。



森下副会長による閉会の挨拶



質問する参加者

#### ■ 定例総会 (17:00~17:30)

研修会終了後、同会場にて令和5年度の定例総会を開催した。正会員59社のうち46社の出席があった。

定例総会では、令和4年度の事業報告・収支決算報告・監査報告、令和5年度の事業計画・収支予算案、役員改選などの議題が満場一致で承認された。



右城会長、森下副会長、西川会計による報告



清水理事による司会



総会の様子



矢田部先生による乾杯の音頭

■懇親会 (17:30~19:30)

研修会終了後、会場を「飛鳥の間」に移し、懇親会を開催した。参加者は講師の方を含めて78名と盛況であった。

右城会長による開会の挨拶の後、高知県橋梁会会員の矢田部先生による乾杯の音頭で懇親会を開始した。

中締め挨拶は、高知県橋梁会森下副会長より、高知県橋梁会のさらなる発展と参加された皆様のご健勝とご多幸を祈念して一本締めでお開きとなった。



歓談のようす



右城会長による開会の挨拶



歓談のようす



歓談のようす



森下副会長による中締め

#### ■あしがき

研修会は138名と多くの皆様に参加をいただきました。高知県橋梁会では研修内容を充実し、有意義な研修会になるよう活動を続けてまいりたいと思います。今後も会員会社の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。